



立志の丘

第42号

R8.2.13

西目中学校

文責：三嶋

発表集会 2月 ～今年度の振り返りなど～

4日(水)5校時に行った発表集会の1・2年生の発表内容を紹介します。今回が最後の発表となる3年生は、3Aは全員が、3Bは男子がそれぞれ後輩へのメッセージなどを発表しました。

【1年D組 ** **】

「ぼくは進む」

第44回 全国中学生人権作文コンテスト
優秀賞 AAB秋田朝日放送賞の作文

みなさんのまわりに障がいをもっている人はいますか。

ぼくは、他の人とはちがった特性をもっているため、小学校一年生から特別支援学級に通い、自分のペースで先生と向き合いながら勉強してきました。

ぼくの通った小学校では、ほとんどの人がとなりにある幼稚園から入学します。でも、ぼくはとなり町の保育園から来たため、入学したばかりのころは、転校生のような気分でした。友達同士が楽しそうに遊んでいる姿を見て、「ぼくももっと友達と一緒に過ごしたい」と思いました。

ある日、家族に「どうしてぼくは支援学級なの」とたずねると、家族は「***は先生とじっくり勉強した方が、力がつくからだよ」と答えてくれました。その言葉の意味は何となく理解できましたが、自分の教室にひとりで帰るときは、やっぱりさみしい気持ちになることもありました。

それでも、ぼくの教室に遊びに来てくれる友達が少しずつ増え、昼休みに一緒に遊んだり、係活動で手伝ってくれたり、運動会や発表会ではみんなと力を合わせて練習したりするうちに、「ぼくもこの仲間の一員なんだ」と感じられるようになりました。この経験は、僕に大きな自信を与えてくれました。

六年生になった秋、中学校への進学について家族と相談しました。支援学校も考えましたが、ぼくは「これからも友達や二つ上の姉と一緒に過ごしたい」と思い、西目中学校を選びました。

入学してからは、担任の先生や新しい先生方、そして友達と楽しく授業を受たり、部活動と一緒に目標に向かって努力したりする毎日です。授業や美術部では、自分の思いを絵で表現する喜びを知りました。先生がぼくの作品をほめてくれたとき、「僕の感じ方はまちがっていないんだ」と思うことができました。

家族からは「いろいろあるけれど、前向きなところが***のいいところだね」と言われています。また、中学校に入ってから、友達が「***くんといると楽しいよ」と言ってくれたことがあり、おどろきながらもうれしい気持ちになりました。

中学校に入ってからぼくは、「障がいがあるからこそ、工夫や努力が必要なことも多いけれど、それがぼくの力なのかもしれない」「周りの人が楽しいと思ってくれることが、ぼく自身の喜びになる」ということを学びました。

そんなぼくに、この夏休み、人権作文が課題として出されました。どうやって気持ちを言葉にすればいいのか、何を書けば人に伝わるのか考えながら、家族と一緒に図書館へ行き、障がいや人権について書かれた本を読んで、人権とは誰にとっても身近で、幸せに生きていくために大切なものだということを知りました。

そして、「障がいのある人こそ、社会を変えるキーパーソンになれる」と考えました。困難やつまずきを経験した人ほど、誰かの悩みや苦しみに気づきやすく、思いやりのある行動をとれると考えたからです。

また、ぼくは自分が特別支援学級にいることも、人権と深く関わっていることに気づきました。自分の特性や学び方を理解してもらい、安心して学べる場所があること。それは、誰もが大切にされ、自分らしくいられる権利で守られている証です。そして、障がいがあるからこそ見えること、感じること、できることがあるのではないかと、ぼくは考えました。

ぼくは、この力を生かして、みんなと協力しながら、もっと優しく、もっと安心して暮らせる社会を作っていきたいです。ぼくにしかできないことがきっとあると信じて、これからも前を向いて進んでいきます。



【2年A組 ** **】

「2年生で頑張ったことと 3年生で頑張りたいこと」

私が2年生で頑張ったことは2つあります。

1つめは勉強です。1年生の時は勉強時間があまり確保できなかつたり、集中力が続かなかつたりして、テストでいい点数がとれませんでした。ですが、2年生になってからは、勉強時間を増やしたり、タイマーを使って勉強するなど工夫をしたりしたことで、1年生の時よりもいい点数をとることができました。

2つ目は部活です。1年生が入ってくれたことで部員が増え、いろいろな練習ができるようになりました。試合形式の練習では、強いボールが来ても相手のコートに打ち返せるようになり、苦手なバックハンドやロブもできるようになりました。総体では今まで練習してきたことやコーチに教えてもらったことを発揮して試合をすることができました。

また、秋季大会では、団体戦で準優勝することができました。県大会に行くこともでき、目標としていた勉強との両立もすることができてよかったです。

3年生で頑張りたいことは勉強です。3年生になったら毎月確認テストがあります。授業で分からなかったところそのままにせず、ワークで復習すること、そして先生に聞くことを忘れないようにしたいです。

苦手な教科の克服を目指し、テストでいい点数をとれるように頑張りたいです。

【2年B組 ** **】

「僕の一週間戦争」

先週の月曜日、僕は朝からなんとなく体が重く、いつもより学校に行くまでの足取りが重かった。授業中も集中できず、帰り道には寒気がしていた。家に帰って熱をはかると体温計には39度をこえる数字が光っていた。その瞬間、僕は「これはただの風邪じゃない」と直感した。翌日、病院で検査を受けると先生は静かに「インフルエンザBですね」と告げた。こうして僕の一週間にわたる“戦争”が始まった。

火曜日からは完全にベッドの上が戦場になった。熱はなかなか下がらず、頭はガンガンするし、体は思うように動かない。布団の中なのに寒くて震える時もある、逆に熱すぎて汗びっしょりになる時もあった。目を閉じてもすぐ眠れず、天井の模様をぼんやりと見つめながら「どうしてこんな時に限って」と何度もつぶやいた。仲間と練習していた野球も休み、焦りもあった。

3日目になると熱は少し下がったが、体のだるさは続いていた。時間だけがゆっくり流れ、外の世界から取り残されたようで気持ちが沈む瞬間もあった。そんな中、**先生から届いた「早く良くなれよ」というメッセージが僕にとっては力強い応援になった。病気と戦っているのは自分ひとりだけだと、支えてくれる人がいると思うと心が少し軽くなった。

木曜日には僕の“戦争”にも少し光が見えてきた。熱が平熱に近づき、食欲も戻り始めた。久しぶりに食べた母のうどんは、いつもより何倍もおいしく感じた。家族は「無理すんなよ」と言いながら、僕が退屈しないようにテレビをつけてくれたり、飲み物を用意してくれたりした。普段は当たり前だと思っていた家族の優しさが、この時は何よりの支えだった。

週末になる頃には体調はほとんど元に戻っていたが、外に出られない日々はやっぱり退屈だった。けれど、そのおかげでゆっくり自分の時間を過ごすこともできた。外をぼんやり眺めたり、音楽を聴いたり、何気ない時間がいつもより特別に感じられた。病気はつらいものだけど、立ち止まるきっかけにもなるのだと気付いた。

そして月曜日。ようやく学校へ行ける日が来た。久しぶりの教室は少し騒がしくて、でもどこか安心できる場所だった。友達が「生きてたか」と冗談を言いながら迎えてくれた時、僕は思わず笑ってしまった。一週間は長いようであつという間だったけれど、僕にとっては成長の時間だったと思う。

今回のインフルエンザとの“戦争”は、体のつらさだけでなく、気持ちとの戦いでもあった。でもその中で気づけたことや支えてくれた人たちのありがたさはきっとこれからの僕の力になる。もしまた同じようなことが起きても、今度はもっと強く立ち向かえる気がする。

3年生の皆さん、インフルエンザに負けないで受験という戦争に全力で戦ってください。



2A ** **さん



2B ** **さん



3A 全員の皆さん



3B 男子の皆さん

**立志三訓カードの結果より
高評価に感謝です**

1月にご協力いただいた立志三訓カードの集計結果をお知らせいたします。どの項目も4点満点での評価をしていただき、平均を求めて6月の同項目と比較した資料です。

質問項目	生徒6月平均	生徒1月平均	保護者6月平均	保護者1月平均	
	増減		増減		
1 自分には良いところがあり、持ち味を生かした生活をしている。	3.2	3.4	3.3	3.5	希望
	+0.2↑		+0.2↑		
2 将来の夢、目標や希望に向かって努力している。	3.2	3.2	2.9	3.2	
	0		+0.3↑		
3 ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう勉強している。	3.1	3.3	2.9	3.2	希望
	+0.2↑		+0.3↑		
4 生活の中で課題解決のために、SDGsに取り組んでいる。	2.9	2.9	2.8	2.9	
	0		+0.1↑		
5 相手の立場を考えて周りとは協力しながら行動することができる。	3.3	3.5	3.3	3.5	友情
	+0.2↑		+0.2↑		
6 人が困っているときは進んで助けている。	3.3	3.5	3.3	3.4	
	+0.2↑		+0.1↑		
7 ふだんの授業で友だちと話す活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができる。	3.2	3.4	3.2	3.4	友情
	+0.2↑		+0.2↑		
8 個性や人権を尊重し、価値観の違いを認めながら、友だちの考えを受け止めて自分の考えを伝えることができる。	3.2	3.4	3.2	3.4	
	+0.2↑		+0.2↑		
9 自分の力を伸ばすために授業と家庭学習を頑張っている。	3.0	3.2	3.0	3.2	鍛練
	+0.2↑		+0.2↑		
10 部活動や苦手なこと、困難なことにも粘り強く挑戦している。	3.3	3.4	3.3	3.4	
	+0.1↑		+0.1↑		
11 授業やふだんの学校生活の中で、課題解決に向けて、学んだことを活用したり根拠をもって説明したりしている。	2.9	3.0	2.9	3.1	鍛練
	+0.1↑		+0.2↑		
12 地域や社会を良くするために何をすべきか考えている。	2.7	2.9	2.9	2.9	鍛練
	+0.2↑		0		

- 10月に引き続き、一定の評価をしていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。
- 10月に生徒平均が下がった「2」「4」もキャリア教育やSDGsの啓蒙により改善できました。
- 10月に保護者平均が0.2ポイント下がった「12」に対して、今後もキャリア講話や少年式等から学んだことを地域や社会のために生かす取組を想起する活動を設定して取り組んでまいります。

第3回学校運営協議会

6日(金)に、第3回学校運営協議会を開催しました。委員の皆様には2校時の授業をご覧いただいた後、今年度のコミュニティ・スクールの成果を振り返り、今後へのご助言を頂戴しました。



【1E：国語】



【2AC：美術】



【校長室：協議】

主に「目標は十分達成できている」「自己有用感も向上している」などのご意見をいただきました。

※議事録の閲覧希望の方はTel33-2304に一報ください。